

先進的な英語教育の実践に対し表彰

上厚真小学校が平成27年度胆振管内教育実践表彰を受ける

上厚真小学校（油谷諭校長）が平成27年度胆振管内教育実践表彰を受け3月4日、同校で表彰状の伝達式が行われました。
上厚真小学校は、平成24年度から文部科学省の教育課程特例校の指定を受けており、英語活動の指定2期目となった平成27年度からは、新たにEタイムを導入して英語に慣れ親しむ機会を増やすとともに、5・6年生にコミュニケーション科を新設し、義務教育9年間の関連性、連続性を密接にした英語活動を実践。また、算数科の指導方法工夫改善による学習指導の充実や学校図書コーナーの改善による読書環境の充実、学校・児童・家庭と連携した学習習慣の定着等の取り組みも行っています。
今回の表彰は、教育課程特例校としてコミュニケーション能力の素地の育成を目指し、各学年で英語活動に取り組むなど、小中の連続性を踏まえた英語教育について先進的な実践研究に努め、その成果を公開研究会で広く発信するなど、管内教育の充実発展に大きな功績を上げたことが認められたもの。

伝達式では、胆振教育局長事務代理の川端雄一胆振教育局次長が祝意を述べ、油谷校長に表彰状を伝達。油谷校長は「夢のある英語教育の実現を目指して先生たちと真摯に取り組んできたことが、このような形で認められたことを大変うれしく思っています。新年度からも、また新たな気持ちで取り組んでいきたい」と、受賞の喜びと今後の抱負を語っていました。



川端雄一胆振教育局次長から表彰を受ける油谷校長

厚真町土地改良区が農林水産大臣表彰を受賞

全国土地改良事業団体連合会（全国水土里ネット）主催の第57回全国土地改良功労者等表彰で、厚真町土地改良区（山田英雄理事長）が農林水産大臣表彰を受賞しました。
これは、生産基盤である農地の大区画化の推進など、地域の農業の振興・発展に大きく貢献した功績が認められたことによるもの。山田理事長は「組合員の農地整備への意欲的な取り組みと、町をはじめ、農業関係機関の支えがあったからこそやってこられた。事業はこれからも続くので、引き続き頑張りたい」と喜びを語っていました。



受賞おめでとうと語っています！



賞状を手にする安田さん(中央)

安田憲司さん(宇隆)が道優良米表彰最優秀賞を受賞

第53回北海道優良米生産出荷共励会（北海道米麦改良協会主催）で、安田憲司さん（宇隆・63歳）が、移植栽培部門（個人の部）第2部（うるち米6畝以上12畝未満）で最優秀賞を受賞し3月22日、宮坂町長へ受賞報告を行いました。
この表彰は、良質で食味の良い米の出荷に実績のある生産者を表彰するもので、収量の安定性や高品質米の出荷実績、土づくりなど幅広い項目を審査。安田さんは「賞をいただき驚いている。これからも消費者目線を心がけ、食べて喜ばれる米作りをしていきたい」と話していました。

3月のまちの話題

長年のふるさと厚真への思いに感謝 室蘭厚真会が26年の活動に幕

3月29日、室蘭地区ふる里厚真会（山川明会長・会員118人）の山川会長と成田秀夫事務局長が町長室を訪れ、宮坂町長と渡部町議会議長へ同会の活動停止と解散を報告しました。
室蘭地区ふるさと厚真会は、平成2年4月に室蘭市・登別市・伊達市在住の厚真町出身者など約150人で発足。以来、田舎まつりへのバスツアーやパークゴルフ大会、町長や議長らを招いての町政報告や懇親を兼ねた総会、年数回の会報発行などの活動を行ってきましたが、近年は新規会員の加入がなく、会員の高齢化や行事への参加減も進んできたことから、1年半ほど前から話し合いを行い、平成27年度末をもって活動停止を決定したとのこと。
成田事務局長は「会の停止は正直さびしい気持ちもありますが、また違う形ででも、お祭りなどのイベントに來られれば」と話していました。



長年にわたる活動ありがとうございました



12人が皆勤賞を受賞 高齢者大学修了式

厚真町高齢者大学の修了式が3月30日、総合福祉センターで行われました。平成27年度の学生数は83人。うち12人が皆勤賞で、学長の宮坂町長が、出席した一人ひとりに賞状を授与しました。
宮坂学長は「新しいものを見て・聞いて、新しいものに挑戦し続けることが、自分を発展させ、人生を豊かにします。皆さんの今年1年の頑張りに敬意と表します」とあいさつしていました。



しゃべーるで意見交換 お茶会ミーティング

町民と宮坂町長、兵頭教育長らが自由に語り合う「お茶会ミーティング」が3月24日、まちなか交流館しゃべーるで行われました。
今年で5回目となるこの企画。今回は8人が参加し、町長と教育長らとざくばらんに意見交換を行いました。参加者からは、子育て環境の整備・充実や、まちづくりに関する町民の参加促進など、さまざまな要望や意見が出されました。



宮の森保育園でひなまつり会

宮の森保育園（佐藤秋夫園長）で3月3日、ひなまつり会が行われ、園児たちが歌や紙芝居、ゲームなどを楽しみました。

会では、先生がひな飾りの由来やお内裏様・おひな様などの名前と役割を話した後、ひなまつりにちなんだ紙芝居を読み、続いて、2つのフラフープをつなげた輪の中に入ってリレーする「おだいりさま・おひなさま仲よしゲーム」を行いました。

最後には、年長児のめろん組の園児たちがお内裏様とおひな様に扮して記念撮影を行い、ひな祭りをお祝いました。



卒園・卒業 おめでとうございます

3月は旅立ち・別れの季節。

町内の保育園やこども園、小学校、中学校、高校でも卒園式や卒業式が行われ、園児や児童・生徒たちが、友人や先生たちと共に過ごした学び舎を巣立ちました。

祝

こども園つみき



祝

宮の森保育園

祝

上厚真小学校



祝

厚真中央小学校

祝

厚南中学校



祝

厚真中学校



祝

厚真高校



祝

厚真高校



まちの話題 plus

ハスカップブランド化推進協議会が ハスカップPR冊子・看板等を製作



厚真町のハスカップのPRに役立ててください！

厚真町ハスカップブランド化推進協議会（下司義之会長）が、厚真町のハスカップを広くPRすることを目的にPR冊子と懸垂幕、苫小牧市場内へ掲示する看板を作成し3月22日、JAとまこまい広域厚真支所で冊子および目録の贈呈式が行われました。贈呈式には、下司会長と厚真町ハスカップ部会の長谷誠良会長も同席し、宮坂町長が秋永徹JAとまこまい広域代表理事組合長へ冊子と目録を贈呈。秋永組合長は「これを活用して、さらに厚真町のハスカップを宣伝していきたい。ぜひ利用させていただきます」と謝辞を述べていました。



都市部と農村の間につながりを

3月14日、グリーン・ツーリズム講演会（町グリーン・ツーリズム運営協議会主催）が総合福祉センターで開催されました。浦幌町で農村ホームステイの受け入れを行っているNPO法人「食の絆を育む会」理事長の近江正隆さんを講師に招き、「農村の価値と役割を考える」と題して講演。近江さんは、農村ホームステイの魅力や仕組みについて事例を挙げながら「農業がなければ社会は成り立たない。都市と農村の間に家族のようなつながりを作り、農山漁村に暮らすことに誇りを持つ地域住民が増えることが大切」と話し、参加者は熱心に耳を傾けていました。



農村ホームステイの可能性について語る近江さん

つみき園児が手作りカレンダーを作製

3月29日、こども園つみき（宇佐美修一園長）のきりん組園児が町長室を訪れ、手作りのカレンダーを宮坂町長へプレゼントしました。

このカレンダーは、きりん組の園児らが毎月の行事等の際に撮影した写真や園児らが手書きした数字を用いて作製したもの。

代表の園児が、大きな声で「わたしたちが作ったカレンダーです。使ってください」と町長にカレンダーを手渡し。宮坂町長は「どうもありがとうございます。大切にに使わせてもらいますね」と、園児にお礼を伝えていました。



カレンダーを手にみんなで記念写真

「差別」について理解を深めよう

「あったかハートの集い」が3月17日、総合ケアセンターゆくりで開催され、34人が出席しました。当日は、社会福祉法人富門華会ケアハウスサクルの清水浩明施設長が「差別について理解を深める～障害者差別解消法の施行にあたって」と題して講演。清水さんは「障害者差別解消法は、障がいのある人への差別をなくすことで、障がいのある人もない人も共に生きる社会をつくることを目指すための法律。生活の中にある差別・区別について改めて考えて十分に理解すること、そして、公平な心遣いで相手を大切にすることが大事では」と話していました。



課題演習やユーモアを交えて講話する清水さん